

令和8年春の交通安全県民運動の実施について

実施期間等

- 実施期間 令和8年4月6日（月）～15日（水）までの10日間（交通事故死ゼロを目指す日 4月10日）
- 主催
交通事故をなくす福岡県県民運動本部
【福岡県・福岡県警察・市町村・（一財）福岡県交通安全協会ほか】

運動の重点

- 通学路・生活道路におけるこどもを始めとする歩行者の安全確保
- 「ながらスマホ」の根絶や歩行者優先等の安全運転意識の向上
- 自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールの理解・遵守の徹底
- 飲酒運転の撲滅

福岡県交通安全協会
ただいまの笑顔で今日も会えますように

交通安全県民運動や
交通安全協会から

春の交通安全
県民運動

生活道路の
法定速度
引き下げ

青切符制度

飲酒運転撲滅

自転車事故を防ぐため
令和8年4月1日から
自転車の「青切符」が導入!
違反に

16歳以上
運転免許の取得
義務化

交通安全県民運動本部【福岡県・福岡県警察・市町村・（一財）福岡県交通安全協会ほか】

運動期間 4月6日(月)～4月15日(水)

春の交通安全県民運動

4月10日は
交通事故死
ゼロ
を目指す日!

運動の重点

通学路・生活道路における
こどもを始めとする歩行者の安全確保

「ながらスマホ」の根絶や
歩行者優先等の安全運転意識の向上

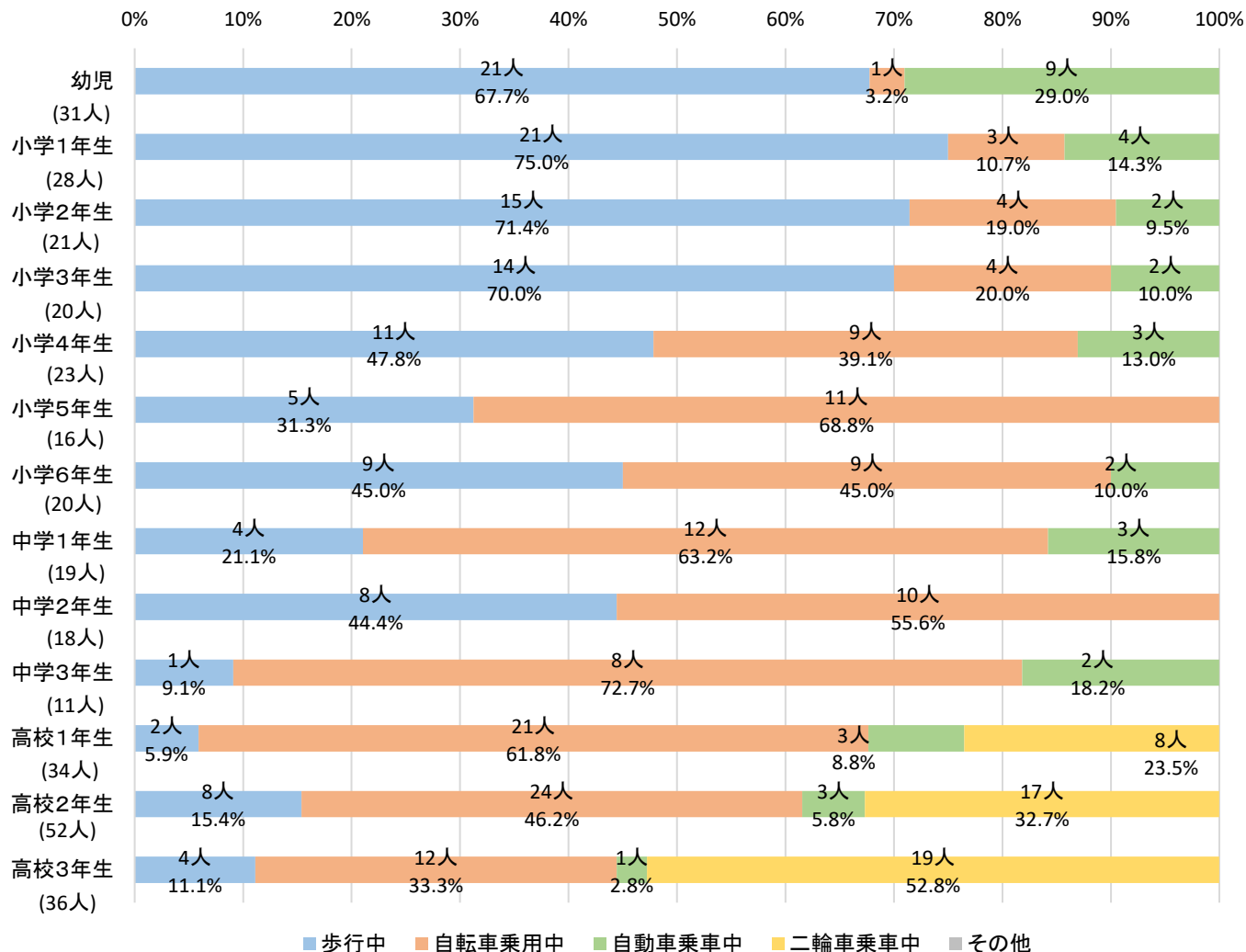
自転車・特定小型原動機付自転車の
交通ルールの理解・遵守の徹底

飲酒運転の撲滅

○ 幼児・児童・生徒に関連する交通事故の状況

- 小学生は低学年ほど歩行中の事故、高学年になるほど自転車乗用中の事故の割合が高くなっている。
- 中学生・高校生は自転車乗用中の割合が最も高く、学年が上がるにつれて二輪車乗車中の割合が高くなっている。
- 高校生から死者・重傷者が大きく増加している。

幼児・児童・生徒の状態別死者・重傷者数【令和3年～7年合計】

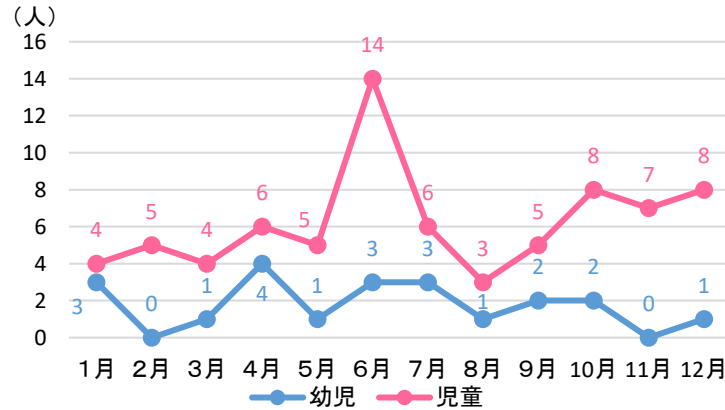


(注)「幼児」とは、未就園児と就園児をいう。
 「児童」とは、小学生をいう。
 「生徒」とは、中学生及び高校生をいう。

○ 幼児・児童の歩行中の事故

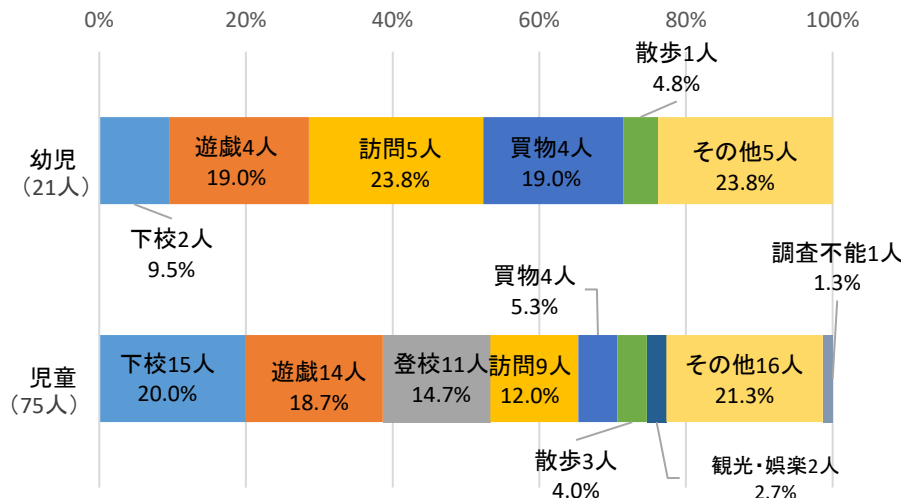
- 月別では、幼児では大きな差は見られないが、児童では6月が最も多くなっている。
- 通行目的別では、幼児は「訪問」、児童は「下校」がそれぞれ最多となっている。
- 法令違反等別では児童は「飛出し」が多くなっている。

歩行中幼児・児童の月別死者・重傷者数
【令和3年～7年合計】



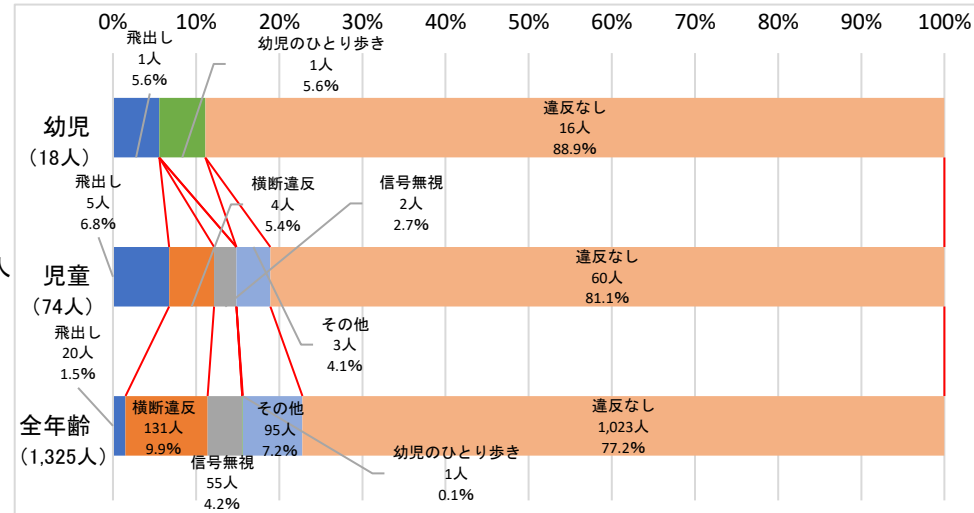
(注)「幼児」とは、未就園児と就園児をいう。
「児童」とは、小学生をいう。

歩行中幼児・児童の通行目的別死者・重傷者数
【令和3年～7年合計】



(注)「幼児」とは、未就園児と就園児をいう。
「児童」とは、小学生をいう。

歩行中幼児・児童（第1・第2当事者）の法令違反等別死者・重傷者数【令和3年～7年合計】

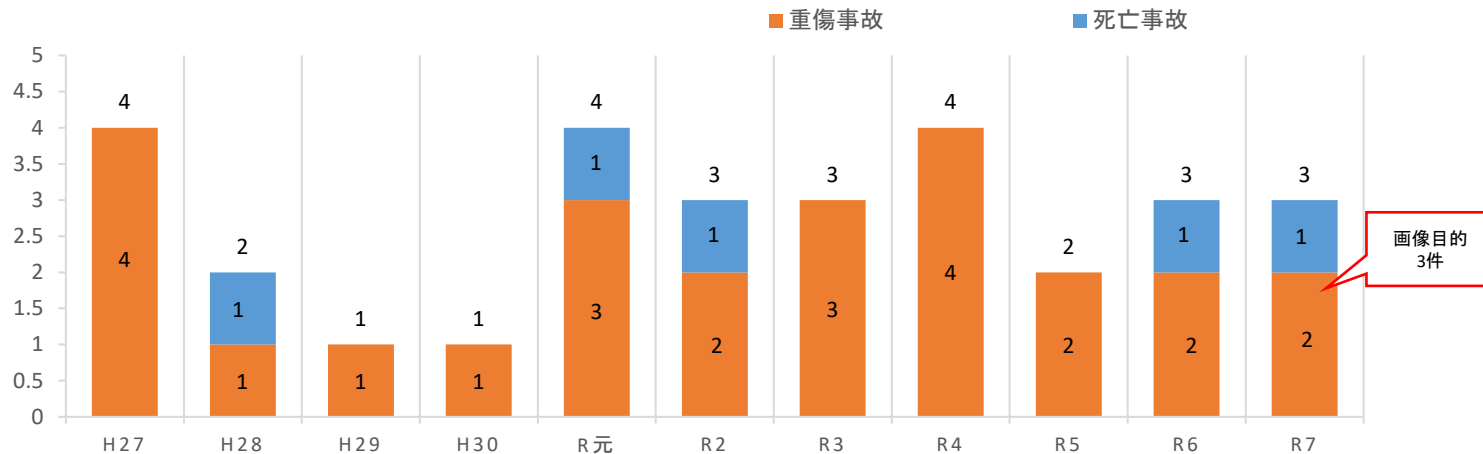


(注)「幼児」とは、未就園児と就園児をいう。
「児童」とは、小学生をいう。

○ 自動車～携帯電話等使用

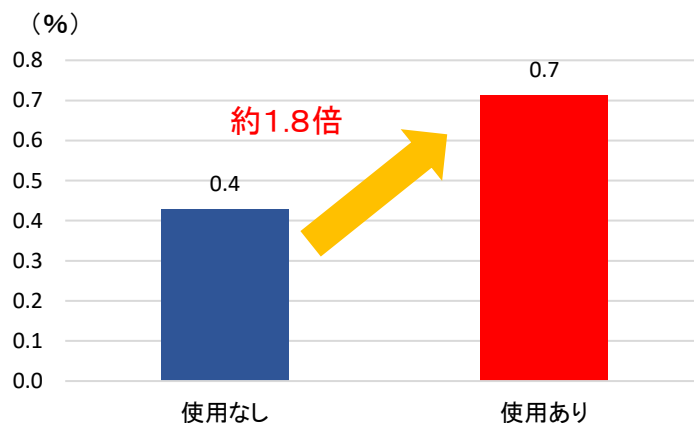
- 携帯電話等使用による人身事故は昨年比べて横ばいとなっている。
- 携帯電話等使用時の死亡事故率は不使用時の約1.8倍となっている。

携帯電話等使用による死亡・重傷事故件数の推移



(注) ・第1当事者が一般原付以上の件数。
・携帯電話、スマートフォンの使用が要因となって発生した事故を集計。

携帯電話等使用有無別死亡事故率の比較【令和3年～7年合計】

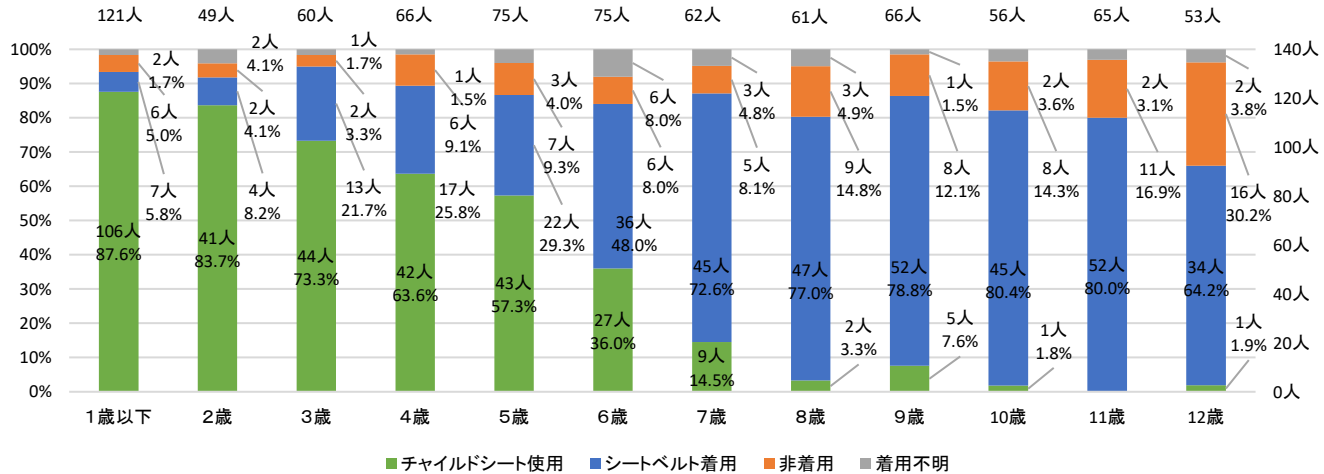


(注) ・第1当事者が一般原付以上を集計。
・「死亡事故率」とは、第1当事者が一般原付以上の交通事故件数に占める死亡事故件数の割合をいう。

○ チャイルドシート・シートベルト

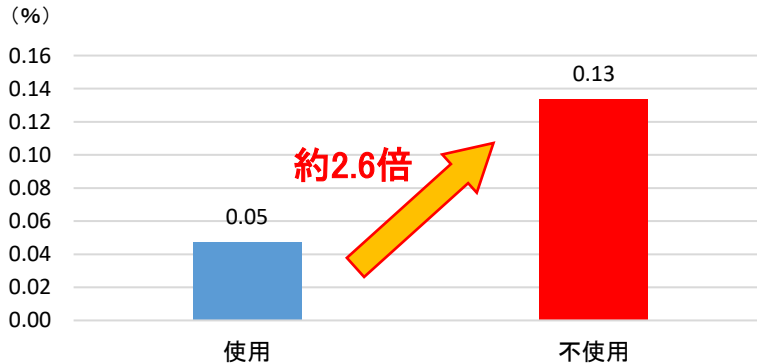
- チャイルドシート使用率は年齢とともに低下している。
- チャイルドシート不使用時の致死率は使用時の約2.6倍となっている。
- シートベルト非着用時の致死率は着用時の約8.9倍となっている。

自動車同乗中幼児・児童のチャイルドシート使用状況別死傷者数【令和7年】

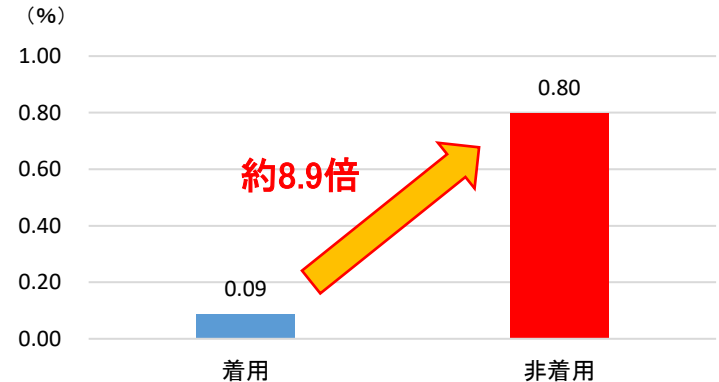


(注) 「幼児」とは6歳未満の者、「児童」とは6歳以上12歳以下の者をいう。以下同じ。

自動車同乗中幼児のチャイルドシート使用有無別致死率比較【平成28年～令和7年合計】



〈参考〉自動車乗車中のシートベルト着用有無別致死率比較【平成28年～令和7年合計】

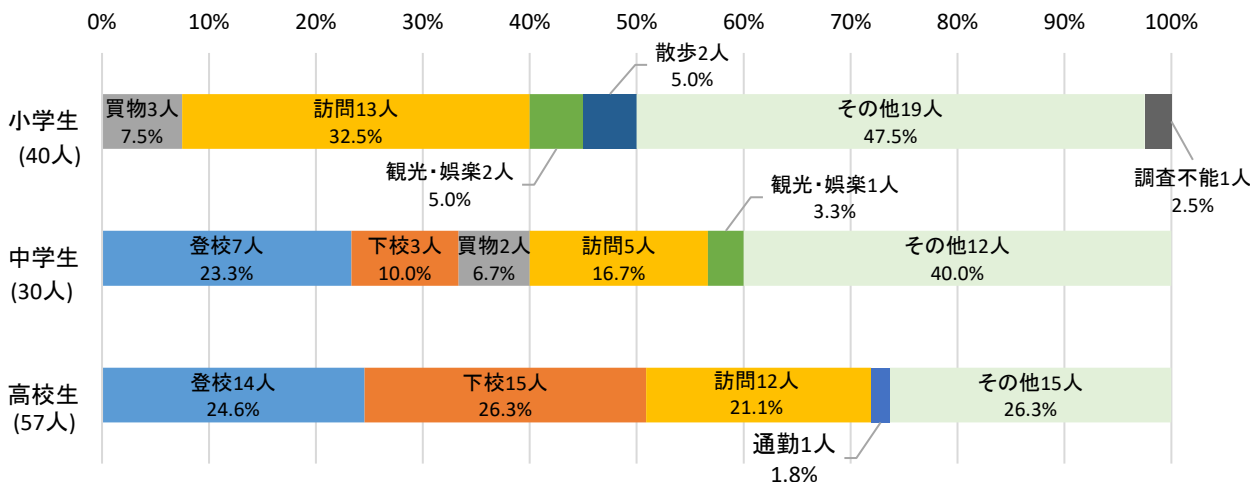


(注) ・「致死率」とは、死傷者のうち死者の占める割合をいう。以下同じ。
 ・「不使用」とは、シートベルトを使用していた者及びチャイルドシート・シートベルトいずれも使用・着用していなかった者をいう。

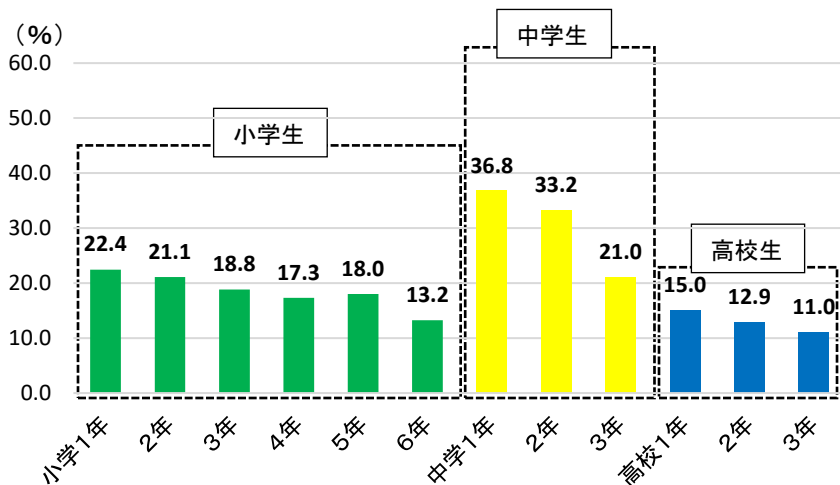
○ 児童・生徒の自転車事故

- 通行目的別では、小学生では「訪問」が最多、中学生では「登校」が最多、高校生では「下校」が最多となっている。
- ヘルメット着用率は、小学生は約1～2割、中学生は1年生が最も高く約4割で、学年が上がるにつれ低くなり、高校生は全学年で低くなっている。
- 自転車乗用中死者数は横ばい傾向にあるが、法令違反ありの構成率は令和5年から減少傾向で推移している。

児童・生徒の通行目的別自転車乗用中死者・重傷者数【令和3年～7年合計】



児童・生徒の学齢別ヘルメット着用率【令和3年～7年合計】



(注) ・「ヘルメット着用率」とは、全死傷者のうち、ヘルメットを着用していた者の割合。

〈参考〉自転車乗用中死者数（第1・第2当事者）の推移

